

放課後等デイサービス

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育ルームりんごの木		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 14日		～ 2025年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 11	(回答者数) 8	
○従業者評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 12	(回答者数) 12	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動に音楽療法を取り入れていること	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して自信や自己効力感を高めることを目的に、音楽療法士による音楽療法を毎回の活動に取り入れています。 音楽療法士、保育士、児童指導員が連携することで、専門性を活かした支援ができます。 子どもの個々の発達課題や年齢に応じたアプローチを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに充実を図るために、子ども一人一人の発達や行動をアセスメントする力を高めるケース検討や研修を実施していきます。 子どもたちの発達の芽をとらえ、ミーティングで気づきを話し合いながら、より子どもたちの主体性を伸ばせるよう努めます。
2	多機能型の事業所のため切れ目なく支援していけること	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期から学齢期へと進んでも、慣れたスタッフや活動が継続することで、環境の変化による不安を軽減できるようにしています。 小さいころから取り組んできた活動が成長とともに発展し、成功体験を積み重ねられるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期と学齢期では支援のアプローチが異なるため、学齢期や思春期の心理的変化の理解を深めていけるよう努めます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもとの交流機会が不足していること	「放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会」を活動として提供できていません。	様々な環境で育っているお子さんが利用しているため、りんごの木の事業所に集まって活動に参加することが交流の機会になっている一面もあります。保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
2	実施日が少ないこと	多機能型となっており、児童発達支援のお子さんで定員が満たされており、平日に放課後等デイサービスのお子さんを受け入れられない状況です。	現状や要望を通じて、同法人内の放課後等デイサービスを提案したり、障害福祉サービス情報検索等の情報提供を行います。